新通小学校　実践報告

図書館主任：龍道奈々子
司書：渡邊みゆき

目次

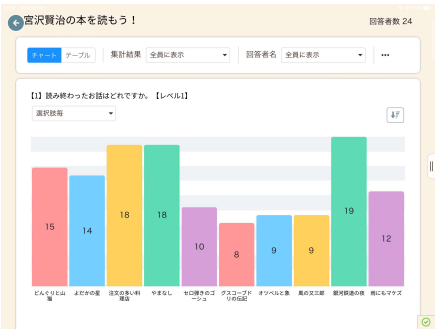
１．教科としての活用
２．児童会「図書委員会」の活動
３．小中連携について

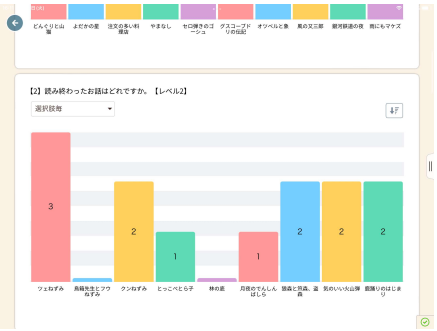
1．教科としての活用

- ６学年　国語「やまなし」「イーハトーヴの夢」
  ～宮沢賢治の本のキャッチコピーを考えよう～
- ４学年　国語「読書会を開こう」
  ～ビブリオバトルをしよう～

６学年　国語「やまなし」「イーハトーヴの夢」
～宮沢賢治の本のキャッチコピーを考えよう～

①並行読書
・単元に入る前から開始。
・ロイロノートのアンケート機能を使って，読んだお話に投票していく。
→教師はだれがどんな話を読んでいるのかが分かる。
　子どもはたくさん読まれている話，読まれていない話がどれなのか分かる。

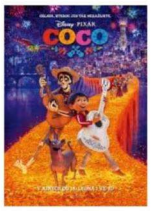




レベル９まで
（レベル１は比較的有名なお話。
その後は順番に規則性なし）

②「Canva」を使ったポスター作り（制作時間：２時間）

・キャッチコピーの手本を示し，６年４月に学習した物語文「帰り道」で練習。
→ディズニーやジブリの映画宣伝ポスターをクイズ形式で提示。



リメンバー・ミー
2017/10/27 公開
ピクサー

①キャッチコピー『それは、時を超えて一家族をつなぐ、奇跡の歌。』

②本作の舞台となっているメキシコでは公開19日目の11月15日には国内全映画史上1位の記録を上げる。

▽ひみつを見る

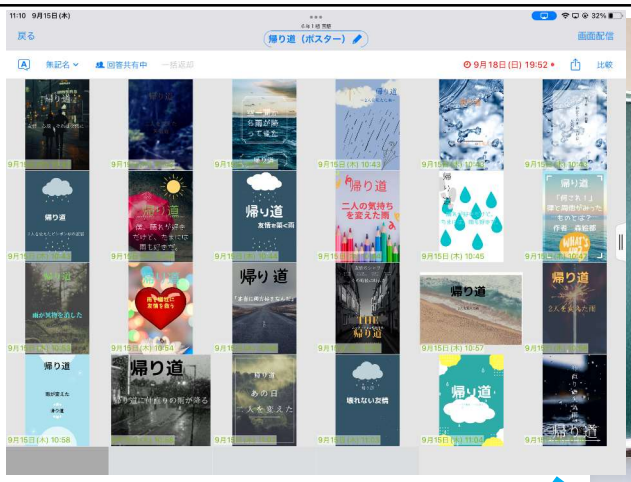
ベイマックス
2014/10/23 公開
ディズニー

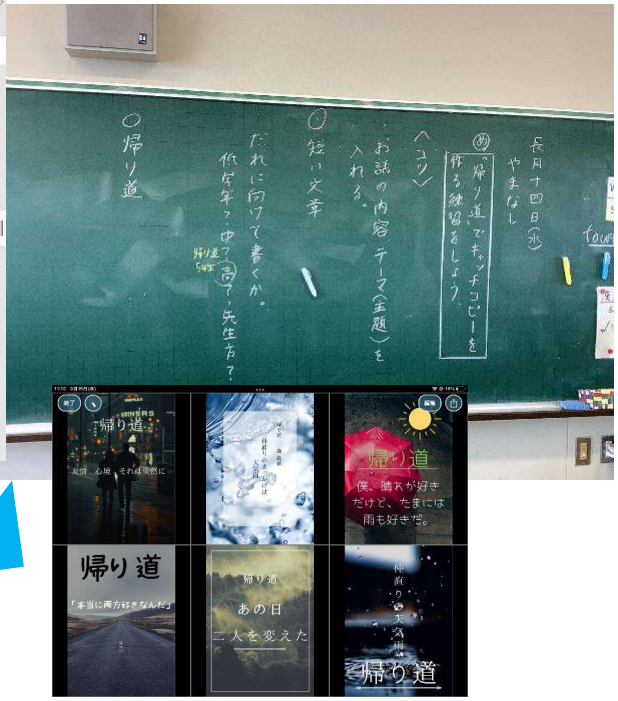
①キャッチコピー『"優しさ"で世界を救えるか？』

②原案は日本人主人公を含むヒーロー6人を描いたマーベルコミックのアメコミ作品『ビッグ・ヒーロー・シックス』。

▽ひみつを見る

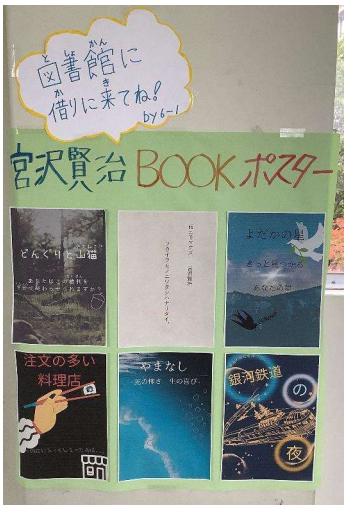
自然体験教室の道中バスで視聴した２作品





無記名で提出させ，読みたくなるキャッチコピー，ポスターはどれかクラス内投票を行った。左の６つが優秀作品で，右下のポスターが最も票を多く集めた。

・宮沢賢治の本で紹介したいお話を１～３つ決め，ポスターを作った。
・「やまなし」「注文の多い料理店」「銀河鉄道の夜」のポスターを作った児童が
　多かったため，クラス内投票を行い，図書館前の廊下と渡り廊下に掲示する作品を決めた。
（１位～３位まで展示。作者名無記名投票）
・クラス内投票で選ばれなかったが，担任から見て優れている作品も追加して掲示した。



【成果と課題】

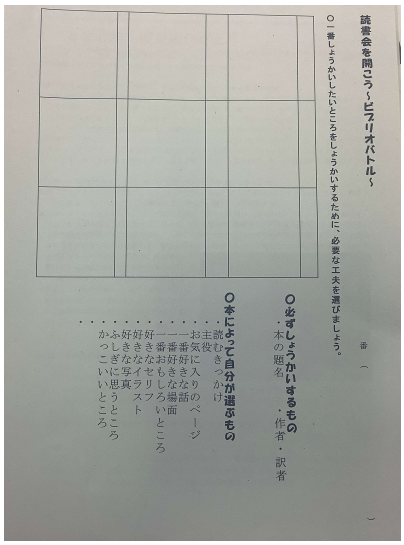
①並行読書
　〇単元に入る前から始めたことで，学習意欲が高まった。
　△クラス内で，おすすめのお話を紹介する場を設ければ
　　よかった。

②キャッチコピー作り
　〇お話を全部読む必要があるので，集中して読書する児童が
　　多くいた。
　△キャッチコピーの妥当性の判断が難しい。

４学年　国語「読書会を開こう」～ビブリオバトルをしよう～

①本の紹介の仕方を考えよう。

②ビブリオバトルをしよう。


読書会を開こう～ビブリオバトル～

○一番しょうかいしたいところをしょうかいするために、必要な工夫を選びましょう。

番（　　）

○必ずしょうかいするもの

・本の題名・作者・訳者

○本によって自分が選ぶもの

・読むきっかけ
・主役
・お気に入りのページ
・一番ききたい場面
・一番ききたいところ
・好きなセリフ
・好きな写真
・ふしぎに思うところ
・かっこいいところ

２．児童会「図書委員会」の活動

- 当番活動・・・休み時間における本の貸し出し，本の整理，
  新しく購入した本の紹介
  （図書委員がiPadを活用して作成したものをテレビ放送）

- イベント活動・・・毎年読書週間を行っている。
  ※今年度は読書旬間で実施

令和４年度　読書旬間

【図書館教育部の読書旬間での取組】

①週３以上，朝のモジュールの時間に読書を行う。
（月曜日は全校読書）

②読書旬間期間中は５冊貸出。（通常は３冊）

③絵本と読み聞かせの会の方々による、「お話の会」実施。
（各クラス３０分程度）

令和４年度　読書旬間

【図書委員会　読書旬間イベント】
〇本レンジャーからのミッション、再び・・・
１．ねらい
　スタンプラリーやクイズを通して、図書館にある本との新たな出会いのきっかけをつくり、読書や本に親しんでもらう。

２．イベントの方法
①日時　１１月７日（月）～１１月１８日（金）
②参加形態　自由参加
③内容
〇クイズ（ロイロノートで作成し、資料箱学内共有へ）
　・・・全問正解者にはプラス１冊券
〇スタンプラリー・・・全て押してもらうと「しおり」プレゼント
〇低学年に紙芝居の読み聞かせ
〇お話給食の本紹介（テレビ放送）

令和４年度　読書旬間

【成果と課題】

Ⅰ 図書館教育部の取組について

①週３以上，朝のモジュールの時間に読書を行う。
　〇毎日実施した学級も多く，実施が難しい学級でも週３は実施できた。
　△週３実施は大変だったという意見もあった。
　★児童会祭りの準備で忙しい期間なので，来年度は１２月中旬に実施はどうか。

②読書旬間期間中は５冊貸出。
　〇朝のモジュール読書実施により読書の時間が確保されたので，５冊貸出はちょうど良かった。

③絵本と読み聞かせの会の方々による、「お話の会」実施。
　〇子どもたちも職員も，絵本に親しむ良い機会となった。
　〇「お話の会」がきっかけで，本に興味をもつ子が増えた。
　△３０分程度での実施だったが，集中力が続かない子も多くいた。

令和４年度　読書旬間

【成果と課題】

Ⅱ 児童会「図書委員会」の取組について

①スタンプラリー
　〇さまざまな種類の本を借りるきっかけになった。
　△委員会のメンバーでの共通理解が図られていなかったため，やや混乱が生じた。

②クイズ
　〇ロイロノートのテスト機能を使ってやったため，誰でも簡単に参加することができた。

③低学年に紙芝居の読み聞かせ
　〇楽しんで聞いていた。
　△図書委員がうまく読めなかったので，もっと練習をしてからやればよかった。

④お話給食の本紹介（テレビ放送）
　〇テレビ放送がきっかけで，今日の給食に関心が高まり，本も読んでみたいという意欲をもつ児童が多くいた。

３．小中連携について

【坂井輪中学校区での取組】

４校（坂井輪中学校，新通小学校，坂井東小学校，新通つばさ小学校）で以前からの連携事項の確認を行い，新しい取組を考案し実施した。

1　以前からの取組として，年間200冊以上借りた６年生児童に対し中学校で使える「プラス２冊パスポート」をプレゼントすること。（平成26年頃から継続している）

2　新しい取組として二つのことが実施できた。
①各校の読書週間又は旬間に合わせて４校の図書委員会から「おすすめの本」のカードを１校につき２枚出し合いポスターとして掲示したものを４校で回覧する。
②６年生で行うオリエンテーションに４校で共通項目を取り入れて中学校でのオリエンテーションへ繋げる。
（今回は分類確認，百科事典引き方，著作権，引用・出典，地域の公共図書館の案内を共通項目とした）

【成果と課題】

○同じ中学校区の司書が一堂に会する機会を持てて情報交換や新しい取組への話し合いができたことは良かった。特に今回は二つ実施できたので，とても良かった。
△日常業務の中から一堂に会する時間を設けることは負担もあった。
★継続していける項目はこれからも続けたい（プラスパスポートやオリエンテーション事項）。

４校図書委員会からの「おすすめの本」カードをポスター掲示

新通小学校掲示例
図書委員会作成